

会議の概要

会議の名称	第3回 中学校給食あり方懇談会（市民・市民団体の部）
開催日時	平成29年8月31日（木） 午後2時 開会 午後4時 閉会
開催場所	茨木市役所 南館6階 第1会議室
出席者	市民8人 「確かな未来ミーティング」参加登録者のうち「学校教育」に興味のある方で参加意向の案内に出席すると回答のあった方 市民団体代表4人 自治会連合会、民生委員児童委員協議会、 青少年指導員連絡協議会、社会福祉協議会（福祉委員） 岡田教育長、京兼委員、片山委員、篠永委員、武内委員
会議の主な意見	<p>◆給食に賛成意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校でも平等に給食が良い。 ・地区福祉委員でこども食堂をしている。ちゃんにご飯が食べられない子には給食は必要である。 ・共働きが増え、食に対し余裕のない母親が増えているのではないか。それでも90%はお弁当を作っている。中学校は、義務教育での食育をする最後のチャンス、全員給食が良い。 ・小学生の子ども達は給食がすごく好きである。献立表にもいろんな情報が書いてあり、親子の会話もできる。保護者は給食がうれしい。 ・小学生の子どもは給食が美味しいと言う、本当にありがたい。弁当を作れる母親は良い母親という風潮もあり無理してでも作ってしまうが、現実はかなわないこともあるので、給食ありきで考えてほしい。 ・中学校の特に成長著しい時に栄養バランスの摂れた給食を一樣にとることは良い。 ・親子方式に魅力を感じた。温かいものを食べられるし栄養面も良い。 <p>◆全員給食への課題についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親は子どもがお弁当を食べたがるので一生懸命作る、子どもは親の負担を考え給食がある方が良いと言っている、両方思いあっている結果。全員給食になると教員の負担と昼休みの時間がどうなるのかが気になる。 ・全員給食になれば先生の負担は増えるのか。大阪市の中学校給食は残食が多く牛乳も1/3残ると聞いた。全部廃棄処分になりもったいない。 <p>◆選択制の給食で良いという意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の昼時間は、行事の練習などがあり、給食を頼んでいる子は食べるのが遅くなり急いで食べることになる。中学校給食の食べる時間は15分と聞いた。弁当は作れる範囲でできたらいいと思う。

- ・極論だが義務教育の間は、教育と給食は無料でもよいと思う。弁当は親も子も楽しみがあり、今の子どもで何も食べていない子はほとんどいない。栄養面などいろいろあるが、家の問題もある。今のままの選択制が一番かと思う。
- ・食は大事、大事な子に食事を作るのは親の仕事という概念がある。選択制で作ってあげたい人は作るという感覚が良い。
- ◆その他の意見
 - ・現在、子どもの貧困が言われる中、小学校と関わっていると、学校で給食を食べられるのが大事な子がいると分かっているが、中学校での実態はまだ聞いていない。
 - ・高1と中1の妹は弁当を分担して作り学校に持って行っている。自分で弁当を作るということは、自信にもなるし、自立につながり親の負担、手間も省けている。
 - ・小学校と中学校で分業したら、小学校でしっかり食べる教育をして、中学校では作る方に軸を置いた教育をしていく。食べられない子がいないことが一番大事なので、親が時間のない中で選べるものが用意されていることは大事だと思う。
 - ・現在の給食で朝8時までの注文は、時間設定が中途半端で、当日は使いづらいとの声があるので、いっそ1週間前までの予約の方が良いのではないかと思う。

備考：事務局で、サブタイトルをつけ意見を集約しています。